

138ひつじプロジェクト 企画発表

各 位

平成 25 年 10 月 15 日
一宮市籠屋一丁目 4 番 3 号
一宮活性化プラン協議会
会長 木村孚男

この度は「138ひつじプロジェクト」の企画発表にご列席いただき、誠にありがとうございます。
ごさいます。

一宮活性化プラン協議会は、尾西信用金庫の呼びかけにより始まった、当地域の活性化を協議するグループで、実業家や農業者、団体や NPO の代表など、産官学民がメンバーとなっております。

平成 23 年末から何度も繰り返されてきた議論の中から、羊肉をテーマとする活性化プラン「138ひつじプロジェクト」が生まれてきました。

**一宮の基盤である繊維産業とりわけ毛織物のウール
ウールの源は、見ても愛らしく、食べても美味しいひつじ
羊料理をこの地域の資源に育て、グルメでヘルシーな活性化を**

羊肉のマーケットを小なりとも創造し、地域内で新たな経済的循環が起こり、地域活性化の一助となることを期待して活動しております。

今まで以下のイベントを開催しながら、事業の方向性を検討してきました。

- ・ 1 月「ラムしゃぶ食べて考えよう」今後の活動を参加者で検討、80 人以上の参加者
- ・ 4 月「138 人ジンギスカン」ラム肉のおいしさを知っていただく野外バーベキュー

これらを踏まえ、別紙のように本格的な展開をしてまいります。当プロジェクトをご案内申し上げますとともに、広報にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日ご説明申し上げたい内容

- 1) 一宮活性化プラン協議会について
- 2) 138ひつじプロジェクトについて

なお一宮活性化プラン協議会や138ひつじプロジェクトの詳細につきましては、別添パンフレットをご覧ください。か、「138ひつじ」にてネット検索をしていただき、<http://www.138sheep.net> をご覧ください。

『138ひつじプロジェクト』について

一宮活性化プラン協議会

1. 「一宮活性化プラン協議会」とは

一宮市において、産学官民の連携による地域の経済的・社会的な活性化を図るため、尾西信用金庫の呼びかけにより、平成 23 年 12 月、地域の団体や企業等を構成メンバーとする「一宮活性化プラン協議会」を発足しました。

本協議会では、オブザーバーとして出席いただいている一宮市役所をはじめ、一宮市の主要経済団体（一宮商工会議所、尾西商工会、木曽川商工会、一宮青年会議所）、地元の学校法人（一宮女学園、修文女子高等学校、一宮幼稚園）、地元企業（㈱コスモミート、㈱アイ・シー・シー、FMいちのみや㈱、㈱JTB 中部一宮支店、尾西信用金庫）、当地で活動する市民団体（NPO 法人志民連いちのみや、いちのみや朝市研究会）といった、当地における「産」「学」「官」「民」の企業・団体の皆様が一堂に会し、一宮市の経済的・社会的な活性化に向けた活発な議論を展開しています。

2. 「138*ひつじプロジェクト」とは （※ 138 = いちのみや）

平成 23 年末の一宮活性化プラン協議会の発足以降、何度も繰り返されてきた議論の中から、第一弾活性化プロジェクト「138ひつじプロジェクト」が生まれました。

このプロジェクトでは、当地域の地場産業である繊維産業、特にその中心となる毛織物の原材料である羊毛（ウール）、その原材料を提供し続けてきている「羊」そのものに着目し、見ても愛らしく食べても美味しいという羊を新たな地域資源として活用した様々な活動やイベントの開催などを通じて街を元気にすることをコンセプトとしています。

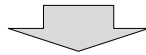


<ひつじプロジェクト誕生の経緯>

- 地場産業である繊維産業、その中心である毛織物工業



一宮市は、古くから伝統のある繊維の街として繁栄し、特に、明治以降は織物生産も工業化され、洋服地を中心とした毛織工業の産地として急速な発展を遂げ、昭和初期には「毛織物王国・一宮」の名前が全国に知れ渡りました。



- 毛織物の原材料である羊毛（ウール）



- 原材料である羊毛を提供し続けてくれている「羊」



“ 見ても愛らしく、食材としても美味しくヘルシーな羊 “



- 『138ひつじプロジェクト』の誕生

一宮活性化プラン協議会メンバーの相互協力の下、「羊」をテーマとして取り上げた活動の実施やイベントの開催などを通じて「138ひつじプロジェクト」を推進しています。

現在は、「食」というアプローチを重要推進ポイントと捉え、羊肉（ラム）の美味しさを広く地域の皆様に知っていただくための活動、羊肉料理を提供していただける飲食店（138ひつじサポーター）の拡大活動等に注力しており、今後は、家庭で料理食材として羊肉を取入れてもらうためのレシピ紹介や処理方法等の情報発信活動などにも取り組んでいきます。

そして、これらの活動を通じて、地域における羊肉マーケットの創造や新たな羊料理発信地として全国認知度の向上などを図り、地域の経済的・社会的な活性化へ繋げていきたいと考えています。

是非とも、私どもの活動趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

138ひつじプロジェクト 今までの動き

平成 23 年 12 月 8 日

一宮活性化プラン協議会 誕生

尾西信用金庫の呼びかけで、産・官・学・民が集まって一宮地域の活性化を図る「一宮活性化プラン協議会」開始。羊肉（ラム）を題材にする案が出される。

平成 24 年 4 月 23 日

138ひつじプロジェクト 誕生

市民イベントプランナー（志民連いちのみや星野博）を企画に迎え、「138ひつじプロジェクト」が誕生、様々な事業を展開する中で、地域に小マーケット創造を目指すミッションと、約3年にわたる計画の骨子を了承。

平成 25 年 1 月 21 日

「ラムしゃぶ食べて考えよう」

しゃぶテラスコスモにて、コスモミート社の協力のもと、ラム肉のしゃぶしゃぶを試食しながら、今後の地域のまちづくりや産業、「138ひつじプロジェクト」について話すワークショップを開催。80人以上の一般参加者が、ヘルシーなラムしゃぶを味わいながら熱心に議論。

平成 25 年 4 月 29 日

「138人ジンギスカン」

大野極楽寺公園にて、同公園の協力のもと、ラム肉ジンギスカンを試食するバーベキュー会。150人以上が参加。食肉専門家、飲食店経営者、カフェ経営者、主婦、ファミリー、会社社長など多様な参加者がラム肉を体験し、高評価。

* 継続する議論

一宮活性化プラン協議会では、イベント等の評価、反省を繰り返しながら、今後の展開を繰り返して議論してきました。

ラムしゃぶ食べて考えよう



138人ジンギスカン





138ひつじプロジェクト 今後の展開

平成 25 年 10 月

138ひつじサポーター募集

イベントのボランティアや、趣旨に賛同して料理を展開する飲食店など、プロジェクトの応援団の募集開始、メンバーにはオリジナルグッズ提供。

平成 25 年 10 月 29 日・11 月 29 日

羊肉特別販売デー

下記「138ひつじレストラン&カフェ」で料理を提供するために、コスモミート社の協力により 29 日（羊）肉の日に羊肉を特別販売。部位カット等も相談、販売。

平成 25 年 11 月・12 月

138ひつじレストラン&カフェ

クリスマスや年末のパーティ料理等で、羊肉を提供する一宮地域の料理店（和洋中すべて含む）をホームページ上で紹介するとともに、ひつじメニューを公開。

平成 25 年 11 月 10 日

138人ジンギスカンⅡ

大野極楽寺公園にて、同公園のイベントとタイアップし、ラム肉のジンギスカンを試食するバーベキュー会。色々な味や部位、食べ方も紹介。事前申込優先、当日参加もあり。

平成 26 年 1 月 20 日

ラムしゃぶ食べて考えようⅡ

しゃぶテラスコスモにて、ラム肉しゃぶしゃぶを試食しながら、今後の地域のまちづくりなどについて話すワークショップを開催。定員 80 人、事前申込要。

平成 26 年 1 月から 27 年 3 月

「138人ジンギスカン」「ラムしゃぶ食べて考えよう」「138ひつじレストラン&カフェ」を継続しつつ、「ひつじ料理レストラン弾丸ツアー」「一宮ひつじアート発掘」「小イベントへのジンギスカン提供」など、各種イベントを継続して実施予定。

平成 27 年秋

ひつじ肉料理コンテスト

飲食店部門、一般部門、学生部門に区分し、ひつじ肉料理やタレのコンテストを実施し、地域のアイデンティティ、地域資源化を図る。

平成 28 年春

138ひつじブック作成

プロジェクトの全体像を伝え、飲食店や料理、レシピ等を紹介する小冊子を作成。

*その他様々な、ひつじと羊肉、羊料理関連イベントを企画中です。